

公益社団法人 地盤工学会
出版企画委員会
議 事 録

平成23年度 第2回

| | | | | | |
|-----------------------------|---|-------------|----------------|-------------|---|
| 日 時：平成23年6月3日（金）14：00～17：00 | | | 会 場：地盤工学会地階会議室 | | |
| 委員長 李 圭太 | ○ | 幹事長 清木 隆文 | ○ | 幹 事 熊谷 隆宏 | ○ |
| 委 員 橘 真也 | ○ | 委 員 仲山 貴司 | ○ | 委 員 細野 康代 | × |
| 委 員 土屋 光弘 | ○ | 委 員 山木 正彦 | × | 委 員 深田 久 | ○ |
| 委 員 岡野 靖 | × | 委 員 川井 康右 | ○ | 委 員 戸本 悟史 | ○ |
| 委 員 岩波 基 | ○ | 委 員 青木 知絵 | ○ | 委 員 高橋 直樹 | ○ |
| 委 員 田中 正智 | × | ワザハバー 荒瀬 義則 | ○ | ワザハバー 楡井 一昭 | ○ |
| ワザハバー 中井 宏 | × | ワザハバー 福村 一成 | ○ | ワザハバー 小川 鉄平 | ○ |
| ワザハバー 杉本 映湖 | ○ | ワザハバー 森口 周二 | × | ワザハバー 和田 健一 | ○ |
| 事務局 永田 満枝 | ○ | | | | |

《報告・確認事項》

1. 議事録担当者……戸本が指名された。
2. 前回議事録(4/15)の確認……(別紙-2)
 - ・承認された。
3. 前回事業部会報告……なし
4. 理事会(4/22・5/13)報告……(別紙-3)
 - ・李委員長より報告された。
 - 「地盤工学を築いた人々」については、日下部会長を委員長とする準備委員会を立ち上げることになった。今後、出版に向けて進んでいくことになる。
 - 「セット de お得」キャンペーンについては、恒久的に継続していくことを提案し了承された。
5. 事業部関係収支報告……(別紙-4) (添付資料-1)
 - ・永田様より平成23年3月までの売り上げについて報告があった。
 - 刊行販売収入には事業部と基準部の売り上げが含まれている。
 - 3月の売り上げが落ち込み、実績としては全体の66%となっている。
 - 丸善は比較的順調である。
6. 各編集委員会および出版作業進捗状況報告……(別紙-5) (添付資料-2)
 - ・深田氏より「地盤改良の調査・設計から施工まで (仮称)」について報告を受けた。
 - 14日に第1回の準備委員会を実施する予定である。
 - 準備委員会で、本の内容を協議する予定である。記載内容が現場向きになることから、現場で使用する施工会社やコンサルタントの委員長が望ましいと考えられる。(李委員長)
 - ・「土の締固め」については、地震等の影響もあり6月の出版が難しい状況である。
 - ・「シールド工法」も遅れ気味である。岩波先生に確認する必要がある。
 - ・「山留めの創意工夫」については、「創意工夫シリーズ」をやめ、単独本として発刊する予定である。
 - ・「地盤工学における性能設計入門」については、仕上げに入っており9月の発刊を目指している。
 - ・「ジオテクノート16」については、5月の第1回準備委員会に引き続き、第2回を本日(6/3)に開催した。
 - ・「都市の地盤」については、東北地方太平洋沖地震に関する記載を追加するので、出版が秋(?)以降となる。
 - ・「新企画：子供向けの本」は、企画の継続も含め検討を行う。

《審議事項》

1. 各WGの進捗状況と課題……(別紙-6)
 - ・出版企画WG……定価設定方法の見直しについて、○年間の出版企画本数に関する基本検討
 - 出版部数調整費の設定について

熊谷氏より報告を受けた。

→間接費を調整しても本の価格は変わらないことから、直接経費の項目として、出版部数に応じて直接経費の調整を行う「出版部数調整費」（テーマ間調整費）を新たに設けることを提案する。

→これにより、初版部数の多少に関わらず、ほぼ同価格を実現できることになる。

なお、単年度では間接費の額に差が出ると思われるので、試行して複数年度で効果を確認する。

■年間の出版企画数について

熊谷氏より報告を受けた。

→年間の出版企画数は、直接発行書籍数とつながっている。現在の販売収入を維持していくためには、年間の出版企画数として3冊以上が望ましいと考えられる。

2. 書籍出版後の訂正について……(別紙-7)

- ・「君ならどうする」の記載内容の訂正について、地盤工学会の対応に時間が掛かったことから、クレームが生じている。対応が遅くなった要因としては、対象箇所の執筆を担当していた方が病気であったこと、編集委員長が新潟に在住していたためである。
- ・このため、事業部長より、出版後の訂正を行う窓口を出版企画委員会に作った方がよいとの意見をいただいている。今後、訂正窓口について本委員会で検討を進めていく必要がある。

3. 執筆要領の見直しについて……(別紙-8)

- ・基準部が作成したものである。出版企画委員会で作成しているテンプレートとの整合を図る必要がある。

4. 引き継ぎについて……(別紙-9)

- ・川井氏より「書籍の初版部数推定式(案)」について説明された。
今後の販売実績に基づき、影響係数等を見直し精度を高めていく必要がある。
- ・高橋氏より「トレンドカーブ」について説明された。
- ・清木先生より「刊行本の著作権等の帰属および取扱いに関する規定」について説明された。
総務部と調整を行い、学会の共通の規定として準備する必要がある。

5. その他

次回委員会は、8月の中旬で調整を行う。

- ・(今後の理事会 総会：6/10(金)、6月24日(金)(書面)、7月29日(金)、9月30日(金))